

スプレーガン自動洗淨装置

型式 **UG3000DJ**

取扱説明書



ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使いください。誤った取り扱いは機械の故障や
大変な事故につながります。
機械を操作する前にいつでも見られるように大切に
保管してください。

この度は **SEIWA**「UG3000DJ」をご選定いただきまして
厚くお礼申し上げます。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行うことがあります。その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買いあげ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

△危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性 が大きいことを示します。
△警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性 があることを示します。
△注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性 があることを示します。
📖留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

目 次

ご使用になる前に	1-2
1. 仕様諸元表	3
2. 製品構成と各部の名称	3
3. 使用方法	4-6
4. 保守点検	7
5. 故障と対策	8
6. 構成部品図・部品表	9-10

ご使用になる前に

労働災害を発生させず安全な作業をするため、次の注意事項、及び取扱方法をよく理解して必ずお守りください。

身体上の危険

1. 作業中は、塗料や溶剤が体に付着したり、溶剤を吸い込んだりすることがあります。常に適切な服装で、防護眼鏡、マスク及び手袋などの保護具を着用し、事故を防止してください。
2. 洗浄液の圧送経路上で液漏れが発生した場合、直ちにタイマーを停止位置に戻し、供給空気を遮断し、ポンプの作動を止めてください。
3. 換気の不十分な狭い場所での作業は、有機溶剤中毒を起こす可能性がありますので、必ず換気のよい場所で使用してください。
4. 作業中、身体に異常を感じたら、直ちに医師による診断、及び治療を受けてください。

爆発や火災の危険

1. 火気のある場所、またはスパークが発生する可能性のある場所は、非常に危険ですから近くでは絶対に使用しないでください。（例：たばこなどの裸火、ストーブ・ヒーター等の電化製品、ドリル・サンダー・およびグラインダーなどの工具類）
2. 換気の不十分な狭い場所での作業は、飛散した溶剤のミストなどに引火する可能性があり非常に危険ですから、換気の良い場所で使用してください。
3. この装置にはアース線が付属していますので、アースの接地は確実に行ってください。アースが不十分ですと、静電気によるスパークの爆発や火災の危険性があります。
4. 作業終了後は、洗浄室内の洗浄液が全て洗浄液容器に回収されているのを確認して、洗浄室下のドレイン・バルブはハンドルを水平にして閉めてください
5. シンナー缶等の容器は、専用の蓋をして安全な場所に保管してください。

装置の誤使用による危険

1. 指定使用圧力の範囲外で使用しないでください。また、供給空気中に異物や水分が入っている場合、フィルター等を装着して装置に入るのを防止してください。装置の作動不良、故障・破損などの可能性があります、非常に危険です。）
2. 装置の作動中は絶対に洗浄室の蓋を開けないでください。洗浄液が装置の外に噴出、目などに入る可能性があります、非常に危険です。
3. スプレーガン、塗料カップなどの塗装機器洗浄以外の目的で使用しないでください。
4. 塗料及び洗浄液の制約
 - * 水溶性の洗浄液の使用は差し支えありませんが、酸性度やアルカリ性度が強いと、装置内の金属と化学反応を起こしたり、腐蝕の原因になる可能性があります。
 - * メチレンクロライド等、トリクロエタン、ハロゲン炭化水素系の液体を洗浄液として使用しないでください。アルミニウム等と化学反応し、爆発等を起こす可能性があります。

* 反応硬化形の液体塗料を使用した塗装器具の洗浄をしたい場合、事前に一度テストして問題のない事を確認してから使用してください。

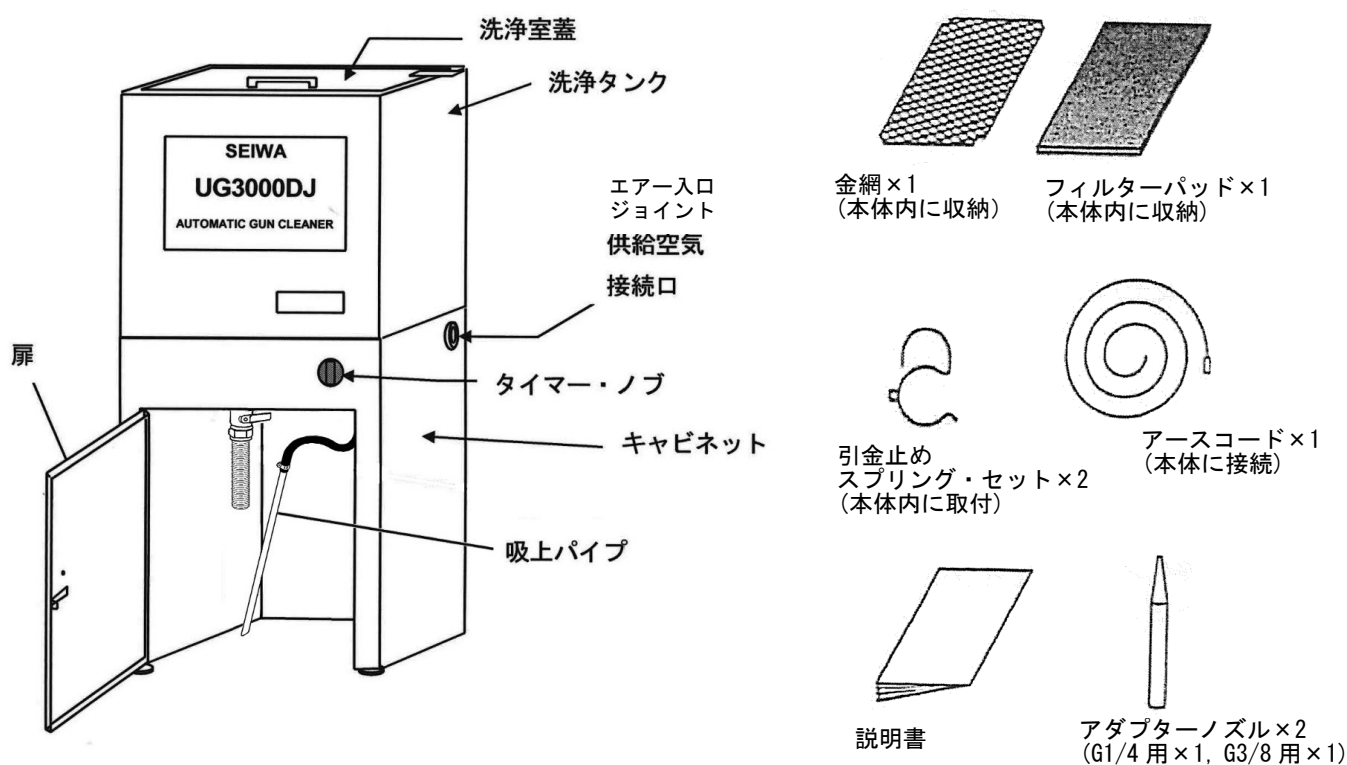
装置に使用されている部品の材質リストが必要な場合は、弊社本社の技術部にご連絡ください。特殊な塗料や洗浄液を使用したい場合、適合性や耐久性を十分に検討し装置に悪影響がない事を事前に確認してください。

5. 装置の改造、及び純正以外の部品の使用はしないでください。また、部品の破損、摩擦、その他の不具合が認められた場合は直ちに部品交換をしてください。そのまま装置を使用し続けると、機能が十分に発揮されないだけでなく部品や装置の破損が更に進み、危険な可能性もあります。
6. 転倒や運転中の揺れを防止するため、装置は水平な場所に設置してください。または、調節脚で高さを調節し、安定した状態に設置してください。装置に接続されたエアホースは絶対に引っ張ったり、重量物を載せたり等破損の原因を避けてください。
7. 装置の修理・保守を行う場合は、洗浄室内の洗浄液が容器に回収され、タイマーが停止位置にある事を確認し、供給空気を遮断してから行ってください。
8. 洗浄液は早めに交換してください。汚れた洗浄液を使用すると、洗浄効果が著しく低下するだけでなく、ジェットが目詰まりやポンプの故障、破損の原因となります。

1 仕様諸元表

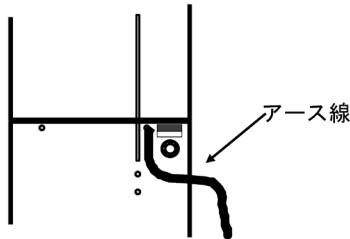
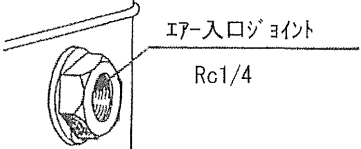
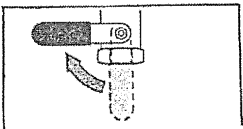
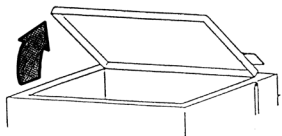
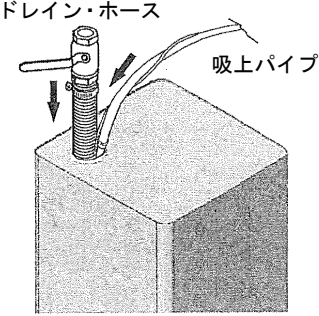
型 式/名称	UG3000DJ (スプレーガン自動洗浄装置)
駆動源	圧縮空気
ポンプ型式	自動復動装置付エアー駆動式ダイヤフラム・ポンプ
タイマー方式	ゼンマイ式メカニカルタイマーによる、空気弁の作動
設定洗浄時間	約 45 秒間
供給空気圧力	0.49~0.59Mpa (5~6 kg/cm ² 時)
使用空気消費量	50~60 リットル/min (空気圧 5kg/cm ² 時)
洗浄液吐出量	約 8 リットル/min (空気圧 5kg/cm ²)
洗浄液タイプ	洗浄用シンナー、水性洗浄液
空気接続金具	Rc1/4、1/4 インチ (メネジ)
操作方法	タイマー・ノブによる、手回式
適合缶	18 リットル角形缶、20 リットル・ペール缶
洗浄室と蓋材質	ステンレス・スチール
洗浄液配送管材質	ステンレス・スチール
寸法・重量	長さ 350×幅 440×高さ 990 mm・約 22 kg
環境温度範囲	5°C~40°C

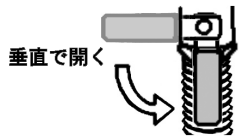
2 製品構成と各部名称・付属品



3 使用方法

1. 設置と準備

1	<p>換気の良い、水平で安定した場所、火気やスパーク等のない場所に設置してください。 床面が平らでない場合、調節脚で高さ調節し、安定した状態でしっかり設置してください。</p> <p>※換気の不十分な狭い場所に設置すると、飛散したミストなどに引火したり、作業者が有機溶剤中毒にかかる可能性があります。</p>
2	<p>付属のアース線で、アースの接地を必ず行ってください。 装置が少々動いてもアース線が引っ張られる事のないように配線してください。アースは必ず導通性のある物（金属性の水道管等）にしっかりと接続してください。</p> <p>※アースが不十分ですと静電気のスパークによる爆発や火災の可能性あります。</p> 
3	<p><u>本体右側のエア入口ジョイントへ、エアホースを接続してください。</u> 圧縮空気供給用のホースは、緩まないよう、また空気漏れが起きないように、しっかりと装置に接続してください。</p> <p>供給空気中に、錆、過分の水やゴミ等がある場合は必ずフィルター・セットを取り付けてください。</p> <p>※劣化したホースは危険ですので使用しないでください。</p> <p>注意： 空気圧力は0.49～0.59MPa [5～6kg/cm²]で使用してください。 圧力が高すぎると装置の作動不良、故障、破損などの可能性があります。</p> 
4	<p>扉を開き、ドレイン・バルブが閉まっている事を確認してください。</p> <p>水平で閉まる</p> 
5	<p>洗浄室の蓋を開けて、金網、フィルターパットの順に取り出し、中に異物がないか確認し、あれば取出してください。</p> <p>※確認後、フィルターパット、金網の順に取り付けてください。</p> 
6	<p>洗浄液が十分に入った洗浄缶（18リットル角形缶、20リットル・ペール缶）の開口部に吸上パイプとドレイン・ホースを取り付けます</p> 

7	洗淨機容器を、ドレイン・バルブのほぼ直下に来るまで、キャビネット内に押し込みます。
8	ドアを開け、洗淨室下のドレイン・バルブを垂直の位置にして開きます。 

2. 洗淨作業

注意、および警告

火器のある場所近くでは絶対に使用しないでください

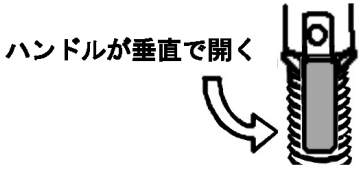

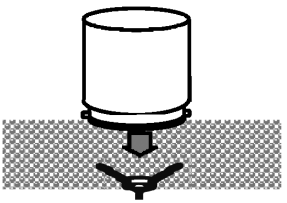
特に、下記のものには着火剤となる可能性があり、非常に危険です。

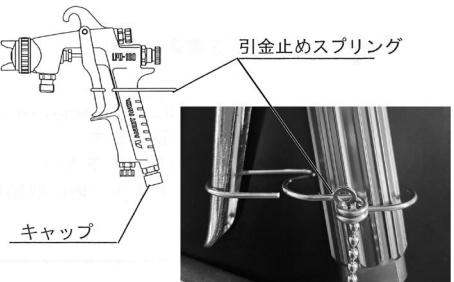
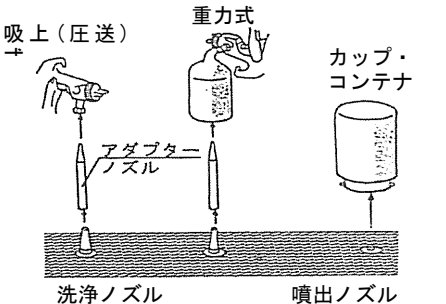
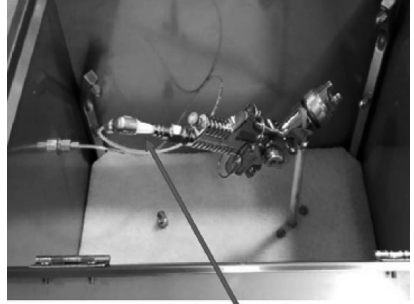
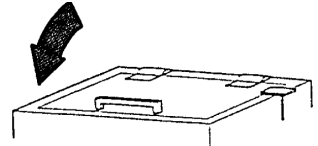
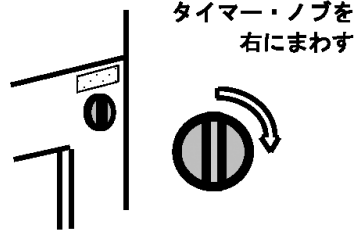
たばこの裸火、ストーブやランプなどのヒーターなどの電気用

ドリル、サンダーおよびグラインダー等の工具、その他爆発や火災の原因となるもの

次のような反応硬化型液体を使用した塗装機器の洗淨をする場合、必ずテストして問題のないことを確認して使用してください。装置内部での固化、反応熱などにより装置の故障、破損の原因となることがあります。(ポリウレタン・不飽和ポリエステル樹脂塗料・エポキシ樹脂塗料)

作業中にホースが外れたり、切れたりした場合、危険なホースの暴れを起こす可能性があります。

1	<p>洗淨室下のドレイン・バルブを開きます。 (ハンドルが垂直位置になります)</p>  <p>注意：ドレイン・バルブを閉めたままで装置を作動するとポンプが空転され、ポンプの故障・破損の原因となる事があります。</p>
2	<p>塗料カップ内に残った塗料を、出来るだけ完全に別の容器に戻してください。</p>  <p>※洗淨は塗装作業終了後、出来るだけ早く行うことが大切です。 ※塗装が硬化してしまうと、洗淨出来なくなる事があります。</p>
3	<p>塗料カップを逆さまにして、ジェットのの上にセットしてください。</p>  <p>※塗料カップが片寄った位置になり、効果的に洗淨されない事がないように、カップ・アダプターが採用されています。 カップ・アダプター (品目コード/419123)</p>

<p>4</p>	<p>スプレーガンの引金を引いた状態で付属の引金止めスプリングで固定します。 止めスプリングを使用しないと、スプレーガン内部の塗料通路の洗浄が出来ませんので、必ず止めスプリングを使用してください。</p> <p>※キャップを装着せずに洗浄すると、スプレーガン内部のパッキン類が破損します。</p>	 <p>引金止めスプリング</p> <p>キャップ</p>
<p>5-1</p>	<p>スプレーガンをノズルにセットします。 圧送式ガン、または上カップ付ガンの場合はアダプターノズルを使って、ノズル部にセットしてください。</p> <p>※上カップ付きガンは、逆さにセットする事になりますので、タンク内部に装備されているテーパプラグをガンのニップルにしっかりと押し込んでください。</p>	 <p>吸上(圧送)</p> <p>重力式</p> <p>アダプターノズル</p> <p>カップ・コンテナ</p> <p>洗浄ノズル</p> <p>噴出ノズル</p>
<p>5-2</p>	<p>洗浄運転中にテーパプラグより出る微小の空気でガンの内部が加圧され、汚れた溶剤がエア・キャップからガンの内部に侵入するのを防ぎます。</p> <p>※上カップ付きガンにテーパプラグを装着せずに洗浄すると、ガン内部に溶剤が流入しパッキン類が破損することがあります。</p>	 <p>テーパプラグ</p>
<p>6</p>	<p>洗浄室の蓋を閉めます。 蓋がしっかりと閉まっていないと安全装置が働き、ポンプは作動しません。</p>	
<p>7</p>	<p>洗浄液容器を、ドレイン・バルブのほぼ直下に来るまで、キャビネット内に押し込みます。 タイマー・ノブを時計方向に止まるまで回して洗浄を開始させます。 洗浄は一定時間(約45秒)後完了し、ポンプは自動的に停止します。</p> <p>※タイマーは、自動停止するまで廻さないようにしてください。 無理にタイマーを切ろうとすると故障の原因となります。</p> <p>注意：装置作動中は絶対に蓋を開けないでください。</p> <p>①洗浄液が装置外にあふれ出し、目などに入る可能性があり危険です。 ②装置作動中に誤って蓋を開けると安全装置が働きポンプが停止します。 ③再度装置を作動させる場合は、蓋をしっかりと閉めてからもう一度タイマーをセットしてください。</p>	 <p>タイマー・ノブを右にまわす</p>
<p>8</p>	<p>洗浄後は清潔な布で拭き取り、再にもガン内部の濯ぎが必要な場合は、空気を接続して塗料カップに少量のシンナーを入れ空吹きすると効果があります。</p>	

4 保守点検

注意

保守・点検作業は装置内の洗浄液を全て回収し、供給エアーを遮断してポンプを止めてから行ってください。高圧力の洗浄液が飛び出す可能性があり、非常に危険です。

- * 洗浄液は早めに交換してください。過度に汚れた洗浄液を使用し続けると、洗浄効果が著しく低下するだけでなく、ジェットが目詰まりやポンプの故障、破損の原因となります。
- * 固形物が混入された洗浄液を使用すると、ポンプの故障・破損の原因となります。
正常な使用方法をしているのに、洗浄能力が低下してきた時は、次項の故障対策を参照して対応してください。

作業毎に次の保守・点検を行ってください

- 作業終了後は洗浄室内の洗浄液を全て回収し、ドレンバルブを閉めてください。
(ハンドルを水平位置にする。) シンナー缶などの洗浄液容器に回収した洗浄液は、専用の蓋をして安全な場所に保管してください。
- フィルターマットは過度に汚れる前に定期的に交換してください。過度に汚れると目詰まりをおこしフィルターの働きをしなくなりますので、ポンプの故障、破損の原因となります。
- 金網は常に清潔に保ようにしてください。
- ポンプ部からの液漏れがないかを点検してください。
液漏れが認められた場合、ポンプの交換が必要な可能性もあります。

5 故障と対策

現 象	原 因	対 策
洗淨スピードが遅い 洗淨室内に塗料が付着する キレイに洗えない	・ 空気圧力が弱い	・ 空気圧力を上げる。 但し 0.78 Mpa (8 kg/cm ²) 以上は 上げないでください
	・ 汚れによる洗淨通路の詰まり	・ 洗淨室内の掃除、ゴミ、塗料、 カスを取り除く
	・ フィルターマットの汚れ	・ 新しいフィルターマットに交換
	・ ノズルやジェットが目詰まり	・ 取り外して目詰まりを除去
	・ 洗淨液の不足	・ 洗淨液を追加する
	・ 洗淨液の過度の汚れ	・ 洗淨液の交換
ポンプが空運転する	・ ドレイン・バルブが閉じている	・ ドレイン・バルブを開く
	・ 洗淨液の不足	・ 洗淨液を補給する
	・ 洗淨室の汚れ、 ・ パイプの詰まり	・ 汚れ、塗料カス、詰まりを取り 除く
	・ ポンプの故障	・ ポンプを交換する
ポンプが作動しない	・ 蓋がしっかり閉まっていない	・ 蓋を閉める
	・ タイマーの故障	・ タイマーを交換する
	・ ポンプの故障	・ ポンプを交換する
シンナーが洗淨室の蓋の周囲から 吹きこぼれる	・ 蓋がしっかり閉まっていない	・ 洗淨室の開口部周囲にペンキや 異物が付着していないか確認して 蓋を閉める
	・ 供給空気圧が高すぎる	・ 空気圧を下げる
	・ ポンプのダイヤフラムに穴が 開いて、空気漏れを起こしている	・ ポンプを修理するか、交換
ポンプが止まらない	・ タイマーの故障	・ タイマーを修理するか、交換
溶剤が白濁化している	・ 溶剤が水と混ざってしまっている	・ 洗淨液の交換

注意

- ・ ポンプ内のパッキンやバルブは特殊工具により組み立てられているため、お客さまによる
部品交換は困難です。
ポンプセットのアッセンブリー交換をしてください。

7 構成部品図・部品表

1	洗浄槽蓋
2	洗浄槽蓋ハンドル
3	洗浄槽
6	ドア・ハンドル
8	安全弁プレート
9	安全弁プッシュ・ロッド
10	洗浄液配送管
11	アダプター・チューブ
12	広角洗浄ジェット
13	テーパー・ノズル
14	エアバスチューブ
16	洗浄タイマーノブ
18	リッドスイッチ
19	洗浄タイマー
21	吸入ホース
22	調節脚
23	ダイヤフラム・ポンプ
24	クイック・ニップル
25	吸排出管アッセンブリー
26	洗浄槽ドレイン・バルブ
27	キャビネット・ドア
28	センター・コネクター
29	ベース・キャビネット
30	ドア・ロック・スプリング
31	フィルター・パッド
32	ワーク・スクリーン
33	洗浄槽蓋ステイ

ガンウォッシュの運転開始前に必ず下記空欄に必要なことがらを記入してください。点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	UG3000DJ	ご使用開始年月日	
製造番号		ご購入先 (必須)	
ご購入年月日		必ずご記入ください	TEL ()

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびバッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所/精和産業トップページ右側「保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長蔵町4-15	TEL 052-412-1717
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡山	710-0841	倉敷市城南606-1	TEL 086-426-5200
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ティール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495